

2023年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社アマナ
代 表 者 代表取締役社長 進藤 博信
(コード番号 2402 東証グロース市場)
問合せ先 取締役最高財務責任者 伊賀 智洋
(TEL. 03-3740-4011)

販売費及び一般管理費、営業外収益、営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第3四半期連結会計期間（2023年7月1日～2023年9月30日）において、販売費及び一般管理費、営業外収益、営業外費用、特別利益、特別損失及び法人税等調整額（益）を計上いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 販売費及び一般管理費（貸倒引当金繰入額）の計上について

当社の海外子会社が保有する営業債権について回収可能性を検討し貸倒引当金を計上したことにより、貸倒引当金繰入額を連結決算にて2百万円計上いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間では46百万円となりました。

2. 営業外収益（為替差益）の計上について

為替相場の変動により、為替差益を連結決算にて23百万円計上いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間では71百万円となりました。

なお、当該金額は2023年12月期第3四半期末時点の為替差益であり、今後の為替相場の変動によりこの金額は変動いたします。

3. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

持分法適用会社である関連会社4社の決算報告に基づき持分法を適用した結果、持分法による投資損失を連結決算にて10百万円計上いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間では持分法による投資損失11百万円となりました。

4. 特別利益（固定資産売却益）の計上について

資産の効率化の観点から固定資産の売却を行い、固定資産売却益を連結決算及び個別決算にて7百万円計上いたしました。これにより、2023年6月30日付開示「オフィスの閉鎖並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載した2023年7月末におけるPORTオフィスの閉鎖に伴う固定資産売却益の計上を含め、当第3四半期連結累計期間では連結決算78百万円、個別決算108百万円となりました。

5. 特別損失（固定資産売却損及び固定資産除却損）の計上について

資産の効率化の観点から固定資産の売却を行い、固定資産売却損を連結決算にて3百万円計上いたしました。また、今後の使用が見込めなくなった固定資産の除却に伴い、固定資産除却損を連結決算にて2百万円計上いたしました。

6. 法人税等調整額（益）の計上について

2023年12月期第3四半期末時点において、税効果会計にかかる将来減算一時差異及び将来加算一時差異の再計算を行った結果、PORT オフィスの閉鎖にかかる一時差異の増減により繰延税金負債の取崩が発生し、法人税等調整額（益）を連結決算にて20百万円計上いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間では23百万円の法人税等調整額（益）となりました。

7. 業績に与える影響

当社は、2023年10月26日付開示「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2023年12月期通期連結業績予想は未定としております。本件を踏まえ、今後、合理的な算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

以 上